

那須  
報 NASUKARASUYAMA

# 那須 烏山

— No.75 —

2011  
December  
**12**

Public Relations Magazine  
of Nasukarasuyama City

自宅敷地の除染方法	2
向田中継局のチャンネル変更	4
市政情報	6
まちの話題	16
インフォメーション	18



どっちが早い? (11月23日、こども館まつりかるたとり)

不安な場合は…

# 家庭でもできる自家敷地の除染方法

## 簡単な作業で放射線量が低減

### 市内の空間放射線量

3月11日の東日本大震災に伴う

放射能問題について、市ではこれ

まで小・中学校や幼稚園、保育園、

消防本部、南那須分署など市内20

か所で毎日放射線量の測定を行い、

その結果を公表してきました。こ

れらの測定結果では、1時間当たり0・1マイクロシーベルト前後

と、特に大きな変化はみられませ

んが、小さいお子さんのいるご家

庭などでは、自分の身近なところ

の状況はどうなのか、不安を抱えな

### 空間放射線量測定器の貸出

そのため、市は10月17日から空

間放射線測定器の貸出を行ってき

ました。不安を抱える皆さん、自

宅敷地等の放射線量を測定するこ

とにより「実際の放射線量がわ

かつてとりあえず安心した」「放射

線量がやや高めでも、土の入れ替え  
えで数値が下がった」などの声も  
寄せられています。

### 自家敷地の測定結果の状況

測定器を利用した皆さんからの  
結果報告を見ると、地下浸透式の  
「雨どい」の直下で、極めて狭い範囲  
で1時間当たり0・5～0・8マイ  
クロシーベルトの高い数値が出る場  
合があります。しかし、そのような  
場所でも地表から1メートルの高  
さで測定すると、他の場所とほとん  
ど同じ線量となっています。

文部科学省では、学校などにおい  
て地表1メートルで、1時間当たり  
1マイクロシーベルトを超える時に  
は、除染等の対策を速やかに行う  
よう指導しています。

それ以下の線量の場合でも、小さ  
い子どものいる家庭などで不安を持  
たれる場合は、個人の住宅敷地等の  
簡単な除染で線量低下が図れます。



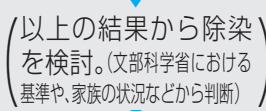
## 自宅を測定し除染した佐藤さん（小木須）



雨どいの直下など、気になる場所を測定。  
（数値が高い場合は周辺も測定。）



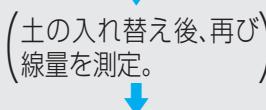
地上から1メートルの高さで測定。



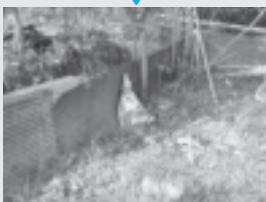
（以上の結果から除染を検討。（文部科学省における基準や、家族の状況などから判断））



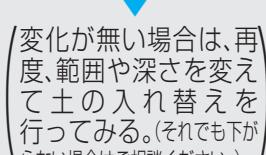
表土を取り除き、線量の低い土と入れ替える。



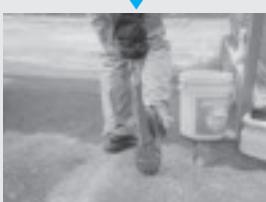
（土の入れ替え後、再び）  
線量を測定。



数値が下がれば、取り除いた土をビニール袋に入れて、人が近付かない所に保管。



（変化が無い場合は、再度、範囲や深さを変えて土の入れ替えを行ってみる。（それでも下がらない場合はご相談ください。））



屋内に入る際は、靴の泥を落とす。

※測定はすべて3～5回測定した平均値。



雨どいの直下など、気になる場所を測定。

5歳の孫と佐藤さん。

「当初は詳しい情報がわからず不安だった」と佐藤悦夫さん。小学4年生と5歳の孫がいるため、市の放射線測定器を借りて実際に自宅を測定してみると、雨どい下の地表が0・8マイクロシーベルトでした。表面の砂利を数センチ取り除いただけで0・3に下がり、庭の砂利をそこに入れ替えると0・25に下がりましたので安心しました。

一般的な方法として、まず、高い線量の出た場所の周辺を細かく測定してください。市で調査したところ、高い線量がするのは30センチメートル四方程度で、それほど広範囲ではない傾向にあります。その部分の表土を取り除き、線量の低い場所の土などを入れ替えると線量が下がります。取り除いた表土は、ビニール袋などに入れて、自宅敷地内の人があまり行かない場所に保管してください。作業に当たっては、

市では今後も放射線量の測定を継続し、結果を防災メールやホームページ、市役所ロビーへの掲示等により公表していきます。また、空間放射線測定器の貸出も引き続き行います。場合によっては、事前に総務課までご連絡ください。作業に当たっては、

（http://www.cas.go.jp/jp/genpat/sujiko/pdf/2011122nisa.pdf）測定器の貸出や除染に関する相談は、総務課危機管理室（0287-133-1111まで）

### 表土の入れ替えで一定の効果

次の3点にご注意ください。  
①作業後は手足、顔などの露出部分を良く洗い、うがいをする。  
②作業後、屋内に入る際は、靴の泥を落とすなど、泥、ちり、ほこりを持ち込まないように注意する。  
③作業後、屋内に入る際は、靴の泥を落とすなど、泥、ちり、ほこりを持ち込まないように注意する。

### 国でも除染技術の情報を提供

なお、国でも各地域でのモデル事業を通じて、除染に必要となる技術情報を継続的に提供することになっています。内閣府原子力災害支援チームが除染を行っている際に有効な技術を整理した「除染技術カタログ」を内閣府ホームページに掲載しています。

実際の作業は、マスク、ゴム手袋、ゴム長靴を着用してください。

次に3点にご注意ください。  
①マスク、ゴム手袋、ゴム長靴、長袖着用により作業を行う。

なお、国でも各地域でのモデル事業を通じて、除染に必要となる技術情報を継続的に提供することになっています。内閣府原子力災害支援チームが除染を行っている際に有効な技術を整理した「除染技術カタログ」を内閣府ホームページに掲載しています。

実際の作業は、マスク、ゴム手袋、ゴム長靴を着用してください。

次に3点にご注意ください。  
①マスク、ゴム手袋、ゴム長靴、長袖着用により作業を行う。

デジタル放送をご覧の皆さんへ

# 烏山向田中継局の送信チャンネルが変わります

「チャンネル再設定」の方法を事前に確認してください!

烏山向田中継局では、これまで一時的に使用していたチャンネルを本来のチャンネルに切替えます。平成24年1月23日(月)の早朝(午前4時頃)から、現在のチャンネルにテレビの自動設定を促す信号が付加され、これにより自動的に新しいチャンネルに切り替わるテレビもありますが、切り替わらない場合は、2月13日(月)以降、次のチャンネル(※1)が映らなくなりますのでご注意ください。

もしも映らなくなったら、地デジ受信機(※2)の「チャンネル再設定」を行ってください。

※1月16日(月)の放送開始から、新しいチャンネルの放送が始まります。

映らなくなる可能性のあるリモコン番号は…

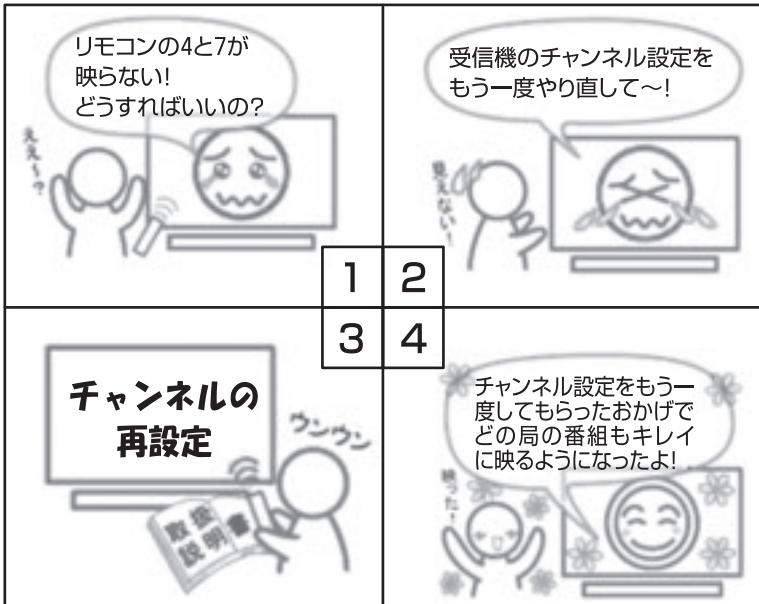
(※1)

放送局	リモコン番号
日本テレビ	4
テレビ東京	7
フジテレビ	8

## ■対象地域

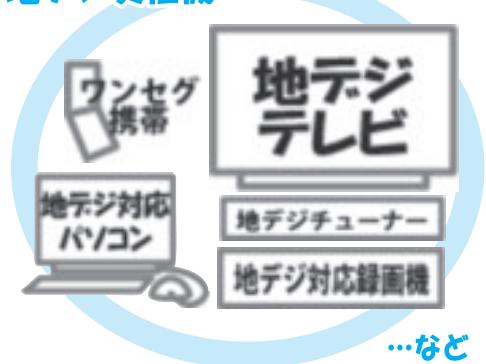


# 受信機によつてはチャンネルの再設定が必要となります



●2月13日にテレビが映らなくなった場合は…  
(こうならないためにも、1月16日から2月12日まで、  
チャンネルの再設定をおすすめします。)

## 地デジ受信機



アナログ放送の終了に伴い国では、1年内に一部の地域で一時的に使用していたチャンネルを本来のチャンネルに切替える必要があるため、鳥山向田中継局の送信チャンネル変更を行います。同中継局から受信している場合、地デジ受信機によっては、チャンネルの再設定が必要となりますのでお知らせします。

の青枠(鳥山向田中継局受信可能エリア)内において、UHFアンテナで同中継局から電波を受信(アンテナの向きを日安にしてください)している機器です。

### ●事前にしておくことは?

①チャンネル再設定方法の確認

テレビが映らなくなった場合に備えて、「チャンネルの再設定」等のホームページにも取扱説明書のチャンネル設定を掲載しています。  
(<http://digisuppo.jp/index.php/rpack/>)

なお、2～3年以内に購入した受信機のほとんどは、チャンネルの自動設定機能※3)がついていますが、それ以前に購入した受信機は、1月23日以降テレビが見えていても、チャンネルの再設定を行うことをおすすめします。2月13日には現在のチャンネル放送が終了し、テレビが見られなくなつ

の方法を確認してください。

### ②番組録画予約の状況を確認

録画機の番組録画予約の状況を確認ください。チャンネルの変更により、予約していた番組が録画されない場合があります。

不明な点は、総務省テレビ受信者支援センター(デジサボ)の「チャンネル変更コールセンター」に問い合わせください。

なお、デジサボでは、1月5日～

12日の間に、鳥山向田中継局を受信する該当世帯に対し、チャンネル変更のお知らせと設定方法が記載されたチラシの戸別配付を実施します。

(※3)デジタルテレビは、テレビを見ていない時に放送電波から特別な信号を取り込み、テレビが常に最新の状態になるよう調整するというアナログテレビではありません。電源コンセントを抜いてしまうと、この機能が働かなくなります。電源コンセントは抜かず、リモコンで電源を切るようにしてください。

## 〈問合せ窓口〉

### 「チャンネル変更コールセンター」

国の補助を受けて(社)デジタル放送推進協会(D p a)の「総務省テレビ受信者支援センター(デジサボ)」が実施しています。

**TEL:0120-922-303**

\*IP電話などで上記番号につながらない場合は、03-4321-0770まで  
受付時間:平日 9:00～21:00 土日祝 9:00～18:00

## 向田ふれあいの里で開所式と記念講演会

### 高齢者が地域で安心して過ごせる施設がオープン

旧向田小学校の一部を改修した「向田ふれあいの里」の開所式及び記念講演会が11月19日、市と同施設管理運営委員会(永野益夫会長)共催により、向田体育館で開催されました。



開所式で施設オープンを祝う。

この施設は、廃校を活用し、多機

能で複合的な高齢者の支援拠点として整備したもの。設立までは、施設整備プロジェクト委員会での検討や地元との協議を重ねた結果、市が設置者となり地域の管理団体に運営を委託して、高齢者の生きがいづくり、地域で支えあう体制づくり、介護予防事業などにモデル事業として取り組むことになりました。

これを受けて8月には自治会長、民生委員、老人クラブ、賛同者などによる「向田ふれあいの里管理運営委員会」が設立され、10月には調理室、多目的室、談話室、会議室、研修室などの改修工事も完了しました。

開所式では、大谷範雄市長が「地域の積極的な取り組みにより開所すことができ感謝する」と、管理



笑いの大切さを嶋さんが講演。

### 教育や救急医療について講演会

10月30日、南那須地域医療を守る会による「秋の特別講演会」が南那須公民館で開催されました。

七合診療所長の本間真一郎医師

が「子どもの教育について」と題し、講演を行いました。また、自治医科大学とちぎ子どもセンター長の桃井真里子教授が「小児救急の判断と上手なかかり方」と題し、乳幼児

大学とちぎ子どもセンター長の桃井真里子教授が「小児救急の判断と上手なかかり方」と題し、乳幼児



乳幼児に関して講演する桃井教授。



老人福祉施設で出前人権相談

の発熱時の判断基準や、放射線の影響などについて講演しました。

11月22日、烏山人権擁護委員協議会(高林和男会長)が、老人福祉施設敬愛荘、グループホームさらに入所者の相談を受けました。同会では、毎年福祉施設の特設相談所を開設しています。

## 「向田ふれあいの里」事業内容

### いきいきふれあいレストラン

閉じこもり予防、食事機能支援を目的にしたレストラン(1週間前までに要予約)

日時：毎週火曜日

午前11時30分～午後1時

料金：市内の65歳以上の高齢者は300円、それ以外は500円(昼食代)

担当：石川 0287-84-2557  
根本 0287-83-0123

### 地域の茶の間

「誰かと話がしたい」「行くところがほしい」「誰かとお茶や食事をしたい」人たちの居場所(1週間前までに要予約)

日時：毎週火曜日

午前10時～午後2時

料金：100円程度(参加費)

担当：国井 0287-84-2446  
石川 0287-84-2383

### いきいきふれあい塾

運動機能低下、認知症予防を目的にした運動教室(自由参加)

日時：毎週金曜日

午前9時30分～11時

料金：無料

担当：平野 0287-84-2479  
永野 0287-84-2410

## 事業仕分け結果を報告

11月24日、市総合政策審議会(宇都宮大学国際学部教授中村祐司会長)は、10月13日に行われた事業仕分けの結果(内容は11月号に掲載)をまとめ、大谷範雄市長に報告書を提出しました。今回は市長が特に検証を必要とする7事業の仕分けが行われ、要改善の意見が多かった結果を、市は今後の事業運営に反映させます。



報告書を手渡す中村会長(中央)とノーノ渡委員(右)。

叙勲、表彰  
おめでとう  
ございます

## 厚生労働大臣表彰 遠藤タツ子さん(中央)

市民生委員・児童委員協議会会長の遠藤タツ子さんが、厚生労働大臣表彰を受賞されました。長年にわたり同委員会に活動し、地

域住民の福祉向上に寄与した功績が認められたものです。

遠藤さんは、昭和58年に同委員会に活動し、地

となり、それ以来28年にわたり高



10月11日、戸村勝美さん(志鳥)が  
防犯活動で表彰



## 旭日双光章 東原 民範さん(中央)



鳥山信用金庫理事長の東原民範さんが旭日双光章を受章されました。長年にわたり金融業務に従事し、豊富な知識や経験を發揮され、地域貢献などにも寄与した功績が認められたのです。

東原さんは、平成3年に同信用金庫理事長、10年に栃木県信用金

庫協会長に就任されました。同信用金庫では、アユ釣り大会や小学生東京ドーム野球大会なども開催し、地域へも貢献しています。今回

の受章で「お客様、地域の方、職員に助けられ、誠実に仕事に取り組んできたことが認められ素直に嬉しい。これからも誠心誠意、地域のために頑張っていきたい」と話してくれました。

## 健康な歯で細田さんが受賞



1本も抜けず、すべてが自分の歯の細田さん。

このほど、財団法人8020推進財団理事長賞を細田昭壽さん(野上)が受賞しました。

8020(ハチマル・ニイ・マル)財

を務めるなど44年5か月にわたり団体の発展に大きく寄与されました。この間、特に消防施設整備、各種教育訓練などに取り組み、地域住民の生命、身体、財産を災害から守るべく指導にあたられました。

今回の受章で「昭和61年の水害などが特に思い出に残る。10年間団長を務めたのは、皆さんのおかげ」と話してくれました。

## 瑞宝双光章 岡崎 博さん(神長)



元鳥山町消防団長の岡崎博さんが瑞宝双光章を受章されました。

長年にわたり消防団発展に尽力し、団員の教育指導、防火思想の普及等に貢献された功績が認められたのです。

岡崎さんは、昭和23年に消防団に入団し、58年から平成5年まで団長

を務めるなど44年5か月にわたり団体の発展に大きく寄与されました。この間、特に消防施設整備、各種教育訓練などに取り組み、地域住民の生命、身体、財産を災害から守るべく指導にあたられました。

このほど、財団法人8020推進財団理事長賞を細田昭壽さん(野上)が受賞しました。

8020(ハチマル・ニイ・マル)財

団では、食物をよく噛み碎いておいしく食べられるよう、80歳になつても20本以上自分の歯を保とうと、広く国民に呼び掛けています。

現在82歳で、すべて自分の歯といふ細田さんは「今でも硬いせんべいや落花生がおいしく食べられる。食事も家族と同じだし、もともと歯が丈夫なのかな」と話してくれました。

## 市消防団通常点検



大桶運動公園での一斉放水点検。

### 非常時に備え機械器具や放水などを点検

内4中学校の少年消防隊員約100人が参加しました。また講評、訓示、表彰なども行われ、消防活動に功績のあった団員や団体などに表彰状が手渡されました。

その後、参加者たちは烏山市街地に移動して、市役所烏山庁舎から山あげ会館まで分行進を実施。沿道で多くの市民が見守る中、全団員と消防自動車41台が行進しました。

なお、模範消防団員知事表彰、県消防協会長表彰の受賞者は次とおりです。(敬称略)

#### ■知事表彰

▽模範消防団員:磯政之、渡邊兼一

▽県消防協会長表彰

▽功績章:久郷敬久、磯政之

#### ▽勤続章

【30年】興野一美、宇井良介

【20年】丸山浩、大橋昭一、佐藤茂、森和人、菊地章記、大貫裕久  
三井敏行、廣木一男、大谷光幸、小

【15年】中田宏行、小濱孝之、星俊之、田澤義行、東原一吉、塙野目保典、中山貴夫、佐藤大、塙野聰、永井和彦、黒尾孝、黒尾賢一、矢板浩之、須藤孝之、鈴木祐輔、阿久津英樹、小口悦男、円谷良則、岡則夫、阿久津

消防団は、市民の生命や財産を守るために、火災や水害などの際に速やかな出動が求められます。この点検では、非常時に備えるために服装、人員、機械器具や放水などを点検するとともに、市民の防火・防災意識や、団員の士気の高揚などを図っています。

当団員と女性消防隊員12人、市の団員と女性消防隊員12人、市



## 小倉自治会で自主防災講話

小倉自治会(高津戸弘会長)では、消防団、育成会、防災準備委員会と合同で、自主防災講話を11月20日、同公民館で開催しました。「被災地の様子を知ろう」をテーマに、被災地支援に取り組むボランティアの小堀道和さんを迎えての講話や消防団によるスライド映写、市職員を交えての座談会などが行われました。

月次自治会(仲山勝司会長)は、防災知識の向上と地域のつながりをより深めようと、11月19日に「月次防災の集い」を矢崎部品柄木工場グラウンドで開催しました。

集いには、雨天にもかかわらず約150人が参加。震度6強の地震知識の向上と地域のつながりをより深めようと、11月19日に「月次防災の集い」を矢崎部品柄木工場グラウンドで開催しました。

### 月次自治会で震度6強を想定し防災訓練



南那須地区広域行政事務組合消防本部や市消防団第6分団、市女性消防隊の協力で放水訓練や煙体験、救助工作車による車両の解体救助訓練も行われ、見学者は消防隊員、団員の技術や車両の特殊な装備に驚いていた様子でした。

仲山会長は「関係機関と連携し開催できたことは大変有意義。この訓練で実際の災害時に迅速な行動ができる」と話していました。

## 空手道関東大会で田崎さんが団体優勝



空手道で活躍する田崎さん。

団体優勝、個人4年生の部で3位に輝きました。また、これまでに何度も県大会で優勝、全国大会(96名参加)でもベスト8に入賞するなど活躍しています。

田崎裕乃さん(江川小4年)が、このほど群馬県で行われた第30回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会の空手道女子、形の部で

幼稚園年長の時に空手道を始め、清原空手道スポーツクラブの氏家クラスに所属し道場で週3回、自宅でも毎日練習に励む田崎さんは「全国で上位を目指しこれからも頑張ります」と話してくれました。

## 荒川ソフトボールクラブ 「モリデン杯」で優勝



10月22日と29日に県内で行われた第40回栃木県少年サッカー選手権大会ジュニアの部で、本市スポーツ少年団のFC Boa Sorte(青木哲也代表)が準優勝しました。

大会は県サッカー協会などが主催し、64チームが参加しました。

22日の1次リーグでは、Jブロックで1位となり、29日のブロック別トーナメントでは、初戦及び準決勝ともにPK戦を制し、決勝は惜しくも

## エクストリームシリーズ2011 那珂川流域で冒険レース

11月12日、震災の影響で延期されていた「エクストリームシリーズ2011那珂川大会」が、宮原の落石河原を発着点に行われました。

この大会は、自然保護や地域活性化などを目的にトレッキング、マウンテンバイク、カヤックなどをメンバー3人が力をあわせて行っています。



48チームが落石河原をスタート。

うレースです。那珂川流域では7回目となる今年の大会に、県内外から48チームが参加しました。当 日渡された地図をもとに、約40キロのコースを自然と格闘しながら

18か所のチェックポイントを回り、「チーム・コナ・ワイン」が5時間10分で優勝しました。

ルクラブ(坂主一美代表)が優勝しました。これまでなかなか勝てなかつたチームの初優勝に「自信につながった」とチームの皆さん。ただ、5年生9人が来年抜けると、2

人しか残らないため、広く入部を呼び掛けています。緑地運動公園か荒川小で毎週土・日曜の午前中練習していますので、ぜひ見学に来てくださいとのことです。

## 和光市で小学生がサッカー交流



市内の少年サッカーチームが11月3日、本市と防災協定を締結する埼玉県和光市を訪れ、親善試合を行いました。この交流は防災協定を結ぶ両市の友好を深めるとともに、選手相互の親睦・交流を深めようと、両市交互に開催しています。

会場では保護者や来賓などの歓声を受けながら、両市の選手とも元気なプレーを繰り広げました。

## 市文化祭の芸能大会や作品展

### 復興支援コンサートや後継者育成発表も

市民による芸術・文化活動の発表の場となる市文化祭(大森茂宏運営委員会長が、10月29日、30を中心烏山公民館、烏山体育館を主会場として開催され、芸能大会や作品展などに多くの市民が来場し、文化の秋を満喫しました。



①エンカペラGの復興支援コンサート  
②芸能大会での発表③子どもたちも生花体験④体育馆で作品展示。



③



④



②



笑いの大切さを話すらん丈先生。

### 三遊亭らん丈先生が「笑い」を講演

#### 生涯学習まつり・市民大学講演会

11月27日、南那須公民館において市教育委員会主催の生涯学習まつりと市民大学講演会が開催されました。

初めに東京都町田市議会議員で落語家の三遊亭らん丈先生による「笑う門には福来る～辛いからこそ笑って生きよう」と題した講演が行われ、会場には終始笑いがあふれていきました。講演後、生涯学習まつりとしてコール烏山及び烏山紙すき唄保存会が発表を行いました。

会場では、公民会活動作品の展示や人権教育啓発DVDの放映なども行われました。



コール烏山の発表。



烏山紙すき唄保存会の発表。



公民館活動での作品を展示。

烏山公民館では、29日に本格的なお茶会や民謡、舞踊、詩吟などを発表する芸能大会が開催されました。昼休みには、震災復興支援として、日本で初めて演歌をアカペラで歌うオヤジ集団「エンカペラG」の5人が、無料コンサートを開催。

このグループは2年前にも1度来ており、本市がこの度の震災で大きな被害を受けたことをテレビで知り、少しでも元気になつてもらえればとの思いで公演しました。

体育館内では29日から2日間、市民及び文化協会員から募集した発表する芸能大会が開催されました。昼休みには、震災復興支援として、日本で初めて演歌をアカペラで歌うオヤジ集団「エンカペラG」の5人が、無料コンサートを開催。校などの児童・生徒の作品が展示されました。生花、書道、押し花体験なども行われ、参加者は指導を受けながら、熱心に作品づくりに

挑戦しました。また、30日には伝統文化後継者育成発表会も行われました。文化庁の補助により、市内に残る無形民俗文化財などの伝統行事を継承するもので、塙の天祭保存会と下境小宅流囃子方保存会の指導のもと、練習を積んできた子どもたちが成果を発表しました。この2日間以降も、山野草、菊花、盆栽、小菊盆栽などの園芸展や囲碁大会など多くの催し物がそれの会場で行われました。